

第 305 回

エフエム石川放送番組審議会議事録

議 題

業務概要の報告

試聴と質疑・意見交換

令和 3 年 6 月 9 日

株式会社エフエム石川

## 第 305 回エフエム石川放送番組審議会

1. 開催年月日・開催場所  
新型コロナウイルスの感染拡大防止策として書面開催
2. 委員の出席  
総委員数 7 名  
書面出席委員数 6 名

書面での出席委員の氏名（50音順）

委員長 : 柳澤良一

副委員長 : 酒井雅洋

委員 : 金井辰樹、久保 勉、平木孝志、宮川昌江

4. 議題  
業務概要の報告  
番組への意見

## 議事内容

### [業務概要の報告]

2年目となった『防犯ブザー プレゼントキャンペーン』で、4月に県内全ての小学1年生約1万人に防犯ブザーを配布したことが報告されました。協賛企業や団体は5月19日時点で47と昨年と同じ時期より8団体増えています。

また、4月の番組改編で、金曜日のワイド番組「Flyin' Pop」の放送時間を変更したについても報告されました。これまで放送時間を2部に分けていましたが、午後1時30分から午後3時55分までの連続した番組となりました。

その他、5月に予定していた「クリーン・ビーチいしかわ in はくさん」と「クリーン・ビーチいしかわ in かなざわ」、そして6月に予定していた「おさかな料理教室」を延期としたことが報告されました。

### [番組への意見]

#### 【対象番組】

番組タイトル：日本郵便 SUNDAY'S POST  
放送日時：2021年5月16日(日) 15:00 - 15:50  
出演：小山薫堂（放送作家、脚本家）  
宇賀なつみ（フリーアナウンサー）  
ゲスト：光浦靖子（お笑いタレント）

#### 【番組内容】

エフエム東京が企画・制作し全国38局で放送している日本郵便提供の番組です。ラジオの中の架空の郵便局「SUNDAY'S POST」を舞台に、手紙の送り主に話を伺いながら手紙を受け取る喜びと手紙を送るワクワク感を放送作家・脚本家の小山薫堂扮さん、そしてフリーアナウンサーの宇賀なつみさんと共に体感していきます。

#### ■柳澤良一 委員長

穏やかな流れで進み、他の仕事をしながら聴く番組としては大変聴きやすかったです。また、ゲストの光浦靖子さんの話も、主題の手紙から離れながらも、楽しく聴くことができました。手紙の効用を声高に説くのではなく、その周辺の興味深い話を混ぜながら番組を進めて行く構成が、押しつけがましくなく優れていると感じます。最後の郵便局員のコメントも適切で、番組を聴いた方は私を含めて手紙を書くことの重みを感じ取ることができたのではないのでしょうか。

### ■酒井雅洋 副委員長

パーソナリティは安定感があり聞きやすく、また音楽の入るタイミングもよかったので、肩肘張らずに気楽に聴くことができました。一方で、特に強い印象が無いまま終わってしまったような気もします。前のゲストが今回のゲストに手紙を書き、さらに今回のゲストが次のゲストにつなげるという仕立ては良いと思いますが、手紙の内容に対する深掘りがあまりされておらず、「アナログな手紙ならではの良さ」を引き出す工夫がもっとあってもよかったと思います。番組後半のリスナーからの話は、手紙の良さをよく表していたと感じました。最後の郵便局員のエピソードは、人の温かさが感じられ、「お客様の心をお届けしている」というフレーズが印象に残りました。

### ■金井辰樹 委員

手紙の温かみを伝えるという試みは素晴らしいと感じましたし、手紙との親和性はテレビよりもラジオの方があると思うので、番組のコンセプトとしてはとてもいいと思います。

経験豊かな3人のトークは安定感もあり、聞きやすかったです。かつての「笑っていいとも」のテレホンショッキングの手紙版のようなコンセプトもおもしろいと感じました。ただし、同系列の中堅の女性芸人だけでつながっているのは拡がりのなさを感じるので、もう少し意外性のある展開を期待したいです。

前半の光浦さんとのトークは、もっと手紙へのこだわりがあるかと思いましたが、それほどでもなかったのは少し残念な気もしました。しかし、冒頭と後半のリスナーからの手紙の紹介では、手紙というツールを使って人と人との温かい触れ合いを感じさせてくれるエピソードが多くつまっており高く評価したいです。後半のお便り紹介コーナーにも、ゲストの光浦さんが加わるようにした方がいいのではないか、という感想を持ちました。

### ■久保 勉 委員

手紙文化の大切さを訴える番組趣旨は好感が持てます。メールやSNSといったデジタルが主流の中、手紙やはがきという生の文字の良さを伝えることは意義があると思います。休日の午後にラジオを楽しむ人にとっては、ゆったりとしたテンポで進むこの1時間番組は、心地よい時間ではないでしょうか。

番組構成については、小山さんと宇賀さんのやりとりが自然な感じで、すんなり耳に入ってきました。ゲストの光浦さんも番組に溶け込み、無理なく聞くことができます。「人が木になる＝休」「少し止まる＝歩」など、興味深い話が多く、視聴して得をした感じがします。

光浦さんが手紙を読むコーナーでは、BGMは不要ではないでしょうか。手

紙に書いてある内容を、視聴者にしっかり伝えることが重要なのであり、過度のBGMは声が聞き取りにくくなります。ここは敢えて、手紙を読み上げる声だけでよいと思います。また、「リスナーの手紙」の一つが郵便局関係者であることが気になります。自作自演とまでは言いませんが、違和感は拭えません。このコーナーで取り上げるのは、郵便業務とは関係のない人にしたほうが番組全体として押しつけ感がないと思います。

#### ■平木孝志 委員

番組の企画から楽しみにして聞きましたが、前半の3人の会話は内容に乏しく言葉遣いや笑い声が気になり、視聴者に訴えるものはあまり無かったと感じました。

後半では、15枚にも及ぶ長男から父への手紙などといった試聴者からの手紙が紹介され、胸が熱くなりました。本来、手紙は内容もさることながら手書きの筆力からも思いが伝わる者です。番組内容にも記されているように、もっと手紙を送る・受け取る際のワクワク感を体感・想像できる番組であってほしいと思います。

#### ■宮川昌江 委員

とてもいい企画です。全体を通して郵便の意義や大切さ、そして楽しさが伝わりました。全国放送に相応しい番組で、小山薫堂さんと宇賀なつみさんの息がぴったりでゲストのことをよく知ることが出来ましたし、手紙を頂いた方への感動も伝わってきて、いいコンビだと感じました。

最後には郵便局の佐藤さんからの手紙を紹介し終わっていますが、こちらが一番感動しました。さらに局長である小山薫堂さんが、手紙をもらった方のもとに訪問までするほど愛着を持っていることにも感銘を受けました。

[議事の概要を公表する場合の日時や内容]

第305回番組審議会の議事概要の公表

令和3年6月19日(土) 19:55 ~ 20:00 に放送

掲載書面の備え置き、及びインターネット・ホームページへの掲載